



♡まんまるはーと♡

第12号

認定こども園和光幼稚園

平成29年1月13日

主幹 宮園 貴子



【コミュニケーションとマナーの初歩】

～“あいさつ”って何のためにするの？～

【あけまして おめでとうございます】

平成29年度の年明けは、ご家族そろって穏やかに過ごされたことと思います。年始のご挨拶を、子どもたちも親戚の方々などど交わしたことでしょ。

日々、生活をしていく中で様々な挨拶があります。子どもの心や好奇心、伝えようとする力などを育てるのに必要な会話の原点ともいえるのが挨拶です。

朝の登園時、「ののさま」と「親鸞さま」、そして先生や友達に『おはようございます』と挨拶をする子どもたちです。4月初は恥ずかしい素振りをしていた子どもたちも、保護者の方や職員と一緒に挨拶をすることで、自然と身に付いてきているようです。

大人は、ある意味“義務”のような習慣になっている挨拶ですが、実際、これから人とかかわりを学ぼうとする子どもに実践させるとなると難しいところがあります。

挨拶することは、会話の突破口であり、人と人とのコミュニケーションに必要な不可欠なものです。

朝、子どもたちを迎えた時に、『おはようございます』と笑顔で目を合わせ、元気に挨拶することを職員は心がけています。子どもたちに安心感と、今日一日の期待感を持たせてあげたいと願っているからです。

また、子どもたちからの元気で笑顔いっぱい挨拶から、私たち職員も一日の元気をもらっています。

挨拶はして当たり前、されて当たり前というのが大人の見解ですが、対人関係を理解しつつある子どもたちにとって、自分から挨拶をすることは、ものすごい出来事であり、できた時の達成感は大きな自信になります。

子どもは大人の真似をすることで成長しますし、大人がすることをよく見ています。そして、それが全て正しいと思っています。

今後も、きちんとした態度で、大きな声で、笑顔いっぱいで挨拶をし、子どもに真似をしてもらえるような和光幼稚園の職員、保護者でありたいと願っております。



☆ 今年もよろしくお祈いします ☆

今年度最後の3学期が始まりました。年長児は卒園・就学、年中・年少・満3歳児は、進級に向けての学期となります。

子どもたちが自信と期待をもって、様々なことに取り組めるよう職員一同、子どもたちと共に歩いていく日々を過ごしたいと思っております。



☆ 体調管理 ☆

季節柄、体調を崩してしまったり、インフルエンザが流行したりする時期です。

園でも、手洗い・うがい・換気に今後も努めて参ります。

お子様の体調に変化を感じたら、医療機関で早めに受診をし、体を休めるなど、体調管理に気を付けていきましょう。

